

令和6年度第2回可児市多文化共生推進会議 議事録（要点録）

1. 開催日時 令和7年3月17日（月）14時00分～15時40分

2. 開催場所 可児市役所4階第1会議室

3. 出席者（16名）

（1）委員

近藤 敦	藤村 祐子	浜口 旭波	佐橋 志保子
各務 眞弓	佐橋 恒和	佐野 朝子	可児 整
今井 竜生	松原 眞弓	佐合 佑介	山田 久子

（2）事務局

市民文化部長	飯田 好晴		
地域協働課課長	田島 純平		
人権・国際係長	木村 彰伯		
人権・国際係	加藤 エジソン	照山 彩乃	梅村 萌

4. 内容

- （1）開会
- （2）市民文化部長あいさつ
- （3）委員長あいさつ
- （4）議題1 「やさしい日本語の手引き」について（資料1）
- （5）意見交流
- （6）その他連絡

（4）議題1

1. やさしい日本語の手引きについて（資料1）

事務局）資料1について説明。

委員長）質問や意見はあるか。

委員）2ページの「やさしい日本語」を作るときのポイントの（5）について「発音が同じで、意味が違う言葉」の例を教えてください。そのような言葉はたくさんあるので、「なるべく使わないようにしましょう。」というのは無理があるのではないかと。

事務局）例えば、外国籍市民会議で上がった例としては、『「児童玄関」を「自動」と勘違いして、自動に開くドアを探してしまったことがある。』という意見があった。資料に記載の「なるべく使わないようにしましょう。」という文言については、別の表し方を検討する。

委員) 3ページ下方の吹き出しの中にある、「小学生に話すような日本語で話しているところ」とあるが、子どものように扱うのではなくて、大人として接することが必要なのではないか。

委員) 3ページの書き換えの例についてだが、市民が使う例が欲しい。災害時にやさしい日本語を使うことが想定されるため、そのような例文を入れてはどうか。

委員) 日常生活で、やさしい日本語の使用を推進していくためには、日常生活での例文を入れてはどうか。

委員) やさしい日本語を使う場面として想定されるのは、災害時だと思うが、市では災害時どのような問題が起きるのか想定しているのか。

事務局) 6月の水防訓練、9月の防災訓練では、市国際交流協会と協力して様々な場面を想定した訓練を実施している。また、県主催の「災害時の外国人支援に係る研修」に参加した。研修では、災害時の外国人支援の基礎や実際に災害時支援センターを開設した事例を基にした内容だったため、研修資料も参考に例文を作成し直すことを検討する。

委員) 職員向けの研修は、想定しているか。

事務局) 人事課とも相談し、開催できればいいと考えている。また、県国際交流センター主催の「行政職員向けやさしい日本語研修」を全職員に周知し、参加希望のあった広報情報課職員と共に参加した。

委員) 国際交流協会では、日本語教室に通う生徒が被災者役として相談窓口に来て、職員が対応するという訓練をした。最初は、やさしい日本語を使っていたが、途中から翻訳機を使ったりしていた。翻訳機も使えない時には、やさしい日本語を使って対応するしかないので、やさしい日本語がさらに普及すればいいなと思う。文化庁の手引きなどを参考にし、可児市に特化したものにすべきでは。

委員長) 3ページの例文に関しては、平常時、災害時、仕事など場面で分けてみてはどうか。また、2ページの「やさしい日本語を作るときのポイント」に擬態語をなるべく使わないことも記載するのはどうか。

委員) 委員の皆様が、外国籍市民に伝える時に困ることはあるか。

委員) 外国籍市民の自治会の加入率はとても低い。自治会に加入する外国籍市民は、日本に住んでいる期間も長く何でも知っており、班長などもやっている。まず、資料1

のような第1版を発行し、意見が出れば内容を変えていけばよいのではないか。

委員) 公民館と伝えると伝わらないので、「〇〇センター」や場所も一緒に伝えると伝わったので、そのように言い換えるのはどうか。

委員) ある特定の地区の人には伝わるが、引っ越ししてきた方などには伝わらない。人それぞれなのでは。

委員) 言葉にこだわるときりがないので、はっきり言うことや、明確に言うことが大切なのではないか。日本語は、主語が省略されることがあるので、主語があったほうが分かりやすい。

委員) やさしい日本語で対応をして、外国籍の方々もやさしい日本語で返してくれた時に、はっきり言われたからといって、日本人側は落ち込まなくてもよいということも伝えたい。

委員) やさしい日本語の手引きを配布することになった場合、分団を決める時に親が決められているところもある。「外国籍の方々に連絡をする時には、このような方法もあります。」と知らせることできるので、配布したら助かると思う。

(5) 意見交流

委員) 聞いた話だが、日本では引っ越した後に近所へ菓子折りなどをもってあいさつまわりに行くが、ブラジルでは引っ越してきた人の家に、近所の人があいさつに行くのだという。お互いあいさつを待っているのかもしれない。

委員) 中国では、引っ越し後のあいさつなどはない。たまたま会った時などにあいさつをするくらいである。

委員) 日本文化を広めることやお互い認識することが大切なのではないか。

15時40分 閉会